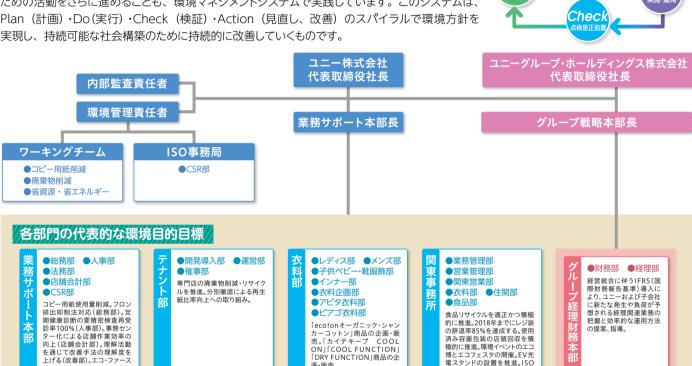
環境マネジメント

-の環境方針に「持続可能な社会構築を企業活動を通して実現することが、企業責任である」と明記しています。持続可能な社会とは、 現在のことだけではなく、未来に向かって地球環境を守り、人間が自然と共存し、誰もが平和で幸せに暮らせる社会です。この大きな目的を果たすために、 ユニーはISO14001環境マネジメントシステムを用い、店舗や事業所の環境影響を調べて改善することに努めています。そして、お客様と一緒に「環境に やさしいお買い物!によって持続可能な社会実現を目指しています。

🦤 環境マネジメントシステム(EMS)の組織と活動

ユニーは営業活動の中で地球環境に対してさまざまな影響を及ぼしています。商品を生産者から 什入れ、運び、販売し、お客様に消費していただくバリューチェーンのそれぞれの過程で発生する 環境に悪い影響(環境負荷)をできるだけ低減することを環境目的目標にしています。また、環境 配慮商品の販売やエコストアの建設、容器包装の削減や廃棄物のリサイクルなど、環境をよくする ための活動をさらに進めることも、環境マネジメントシステムで実践しています。このシステムは、 Plan (計画)・Do (実行)・Check (検証)・Action (見直し、改善) のスパイラルで環境方針を 実現し、持続可能な社会構築のために持続的に改善していくものです。





改善部・国際部

トの約束を達成する(CSR部)。

- ●情報システム部 ●物流部
 - 電子帳票化による本部出力帳票の削減。仕入伝票のペーパレス化(情報システム部)。物流におけるCO2の排出量削減。関東 北センター内にリサイクルセン ター設置(物流部)。
- ●店舗開発部 ●ユーライフ部 地球温暖化防止のため、エネル ギー消費量の少ないエコストアを建設、アピタ岡谷店への対 応。既存店舗の照明設備の LED化。

●管財部 ●建設部

- ●管理部
- ●商品·品質管理部 ●お客様サービス部
- ●営業企画部
- ●営業政策部
- お客様の理解を得ながら空調 お客様の埋解を得ながら空調温度設定による省エネ化推進。 地方自治体と協力しながら、お 客様の安全・安心のための取り 組みを推進(管理部)。PLCに関 与し、価値ある商品を提供(商 品·品質管理部)。環境配慮企

ECビジネス部

●ヘルス&ビューティ部

「DRY FUNCTION I商品の企

- ●ホームファッション部 ●ハウスウェア
- &エレクトリック部 ●ホビ
- &ステーショナリー部
- ●住関企画部 ●アピタ住関部 ●ピアゴ住関部
- 環境配慮商品ecolonの販売推 進。部内におけるコピー使用量
- ●ドライ食品部 ●鮮魚部 ●精肉部 ●青果部 ●コンセ部
 - ●食品企画部 ●アピタ食品部 ●ピアゴ食品部

店舗での食品廃棄物の発生抑 の拡販(包材削減の環境配慮

- ●業務管理部 ●営業管理部 ●山静営業部
- ●衣料部 ●住関部 ●食品部
- 静岡県との包括協定による取 静岡県との包括協定による取り組みの推進。エコ博の開催 (ラザウォーク甲斐双葉、アピタ 静岡店)。行政との共同による 環境学習の実施。静岡県・山梨 県で食品リサイクルループの継 続よりいる記証をアピタ全店舗へ

済み容器包装の店頭回収を積 病の存储さるのが高頭回収を損 極的に推進。環境イベントのエコ 博とエコフェスタの開催。EV充 電スタンドの設置を推進。ISO 認証をアピタ全店舗へ拡大。

- ●北陸営業部 ●衣料部 ●住関部 務所 ●食品部
 - 食品リサイクル率の向上(目標70%)。食品リサイクルループの 様報。レジ袋辞退率の向上(目標 標87%)。エコ博の開催(アピタ 富山東店、アピタ松任店、アピタ 福井大和田店)。EV充電スタンドの設置を推進。ISO認証をアピタ全店舗へ拡大。

●業務管理部 ●営業管理部

の提案、指導

●経営企画部 ●オムニチャネル 戦略部

自分達の業務における環境に対する負荷の削減。 事業会社への環境影響の 軽減の施策を提案・実施。

関係会社管理部 秘書室 広報IR室

●グループ業務企画部 ならびに各事業会 ユニーならびに各事業会 社の環境影響の負荷軽減 につながる施策の企画、 立案, 実施。

監査室

舗 ※p10に店舗環境ISO推進体制の詳細を記載しています。

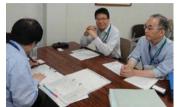
🧬 環境マネジメント(ISO14001)の取り組み

2004年1月に本社事務所がISO14001を認証取得し、その後関東事務所・山静事務所・北陸事務所がそれぞれ本部として認証取得しました。 2008年2月、本社が各本部を統合、同年8月にはユーストアを合併し組織変更・拡大を図りました。2013年8月、ユニーグループ・ホールディン グスが認証範囲に加わり、そして、2014年2月からモデル店舗(アピタ千代田橋店、アピタ長津田店、アピタ富士吉原店、アピタ松任店)が認 証取得し、順次、店舗認証の拡大を進めています。





アピタ岐阜店 ISOバックヤード審査



本社サーベイランス部門審査



アピタ各務原店 ISO審査



本計サーベイランス現場内審査



アピタ美濃加茂店 ISO売り場内審査



▶ 店舗でISO14001認証取得、40店舗に拡大

店舗での環境活動をより推進していくためにISO14001の認証取 得を全店へと拡大していきます。モデル店舗の4店舗に加えて、 2015年度は、ユニーが店舗展開する1府18県で各府県1店舗の19 店舗にて認証の拡大を図りました。2016年7月には新たに17店舗が 認証を取得、これで40店舗になりました。

2016年度中にアピタ全店舗、2017年度中には、ピアゴ全店舗に てISO14001の理解活動を拡大していきます。

ISOの環境目標には、従業員から提案された環境側面をテーマに 取り組んでいます。

◆店舗におけるISOの環境・目標 (2016年度)

- ① 環境関連法令の遵守
- ② 電気使用量の削減
- 廃棄物の削減とリサイクルの推進
- ④ 排水水質の改善
- 営業と一体となった地域貢献活動



環境側面の特定



店舗でのISO14001理解活動

▶ ISO14001推進のための社員教育

環境方針・環境目標やマネジメントシステムの理解を深め、環境活 動を実践していくために、適用範囲の全従業員と関係する人々に教 育を実施しました。環境目標は、部門ごとに業務の環境影響調査を 行い、環境側面を抽出して設定しました。「環境実施計画」策定につ いての教育を実施しました。

また、環境マネジメントシステムの内部監査の監査員教育を行い、 認定取得は352名になりました。



内部監査員養成合宿



本社従業員集合教育

緊急事態への対応

環境影響で重大なものに災害があります。愛知県稲沢市の本社では 2011年の東日本大震災レベルの災害が東海地方におこることを想定 し、防災訓練を計画して実施しました。



本社合同消火訓練



ISO14001認証取得に向けて

▶店舗環境ISO推進体制

店舗の環境ISO推進体制に基づくメンバー により、月に1度、ISO推進委員会が開催さ れます。店舗で作成した環境実施計画書の 具体的な数値を評価して、点検・見直しを 実施し、具体的な施策を講じていきます。



ISO推進委員会



衣料副店長 住関副店長 テナント担当副店長 専門店代表者

アピタ稲沢東店 2016年7月ISO14001認証取得

食品副店長

アピタ稲沢東店は、2016年3月からISO14001の 理解活動を開始しました。従業員の環境への意識が 向上し、これまで推進してきた環境保全活動の精度を 上げて取り組みました。その効果として、活動開始の3 月から6月までの環境目標は毎月すべての項目で目標を 大きく上回って達成できました。



リーフウォーク稲沢 支配人 朱宮 伸治